

JAWW 代表交代のご挨拶

前代表 田中正子

皆様、私はこの6月の年次総会で代表を退任いたしました。2011年6月からの4年間でしたが、皆様のご協力を得て、大過なくやってまいりましたことを心から感謝いたします。厚く御礼申し上げます。

実は、私は、この3月にニューヨークでの国連女性の地位委員会に出席した後、仙台での第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムに出席しましたが、その直後インフルエンザにかかり1週間入院いたしました。その退院後足に不具合を生じまして（原因不明）、一時歩行が不自由になりました。思ってもみなかったことでした。しかし、その一方、考えてみますと、JAWWを取り巻く環境は変わり、設立以来のNGOレポートを作る活動以外に、APWWのSteering Committeeへの出席、国連女性の地位委員会(CSW)への参加、国連代表部との共催のサイドイベントの開催、また、最近では仙台で行われた第3回国連防災世界会議の関連会議に向けての政策提言への参加、毎年夏NWECで行われる男女共同参画推進フォーラムへの参加、今年は「北京+20」フォーラムの準備会合や第4次男女共同参画基本計画への提言など十指に余る活動をしており、その変化の速さと多様性について行くのは、私にとっては、ちょっと大変と思うようになりました。判断をあやまるより、若い方にバトンタッチした方がよいと思うようになりました。あとに素晴らしい方に引き継いでいただくことができ私は幸運です。

過去の思い出で忘れがたいのは、2005年にジャカルタでのESCAP政府高官会議（北京+10）に日本から単身で派遣されたときのことです。そこで、私は、APWWの報告会で、司会をやらせていただき、おかげで、Tatti, Pam, Sjamsiah Achmad, PawadeeらAPWW主要メンバーにも初めておめにかかり、親切にしてくださりました。忘れがたい思い出です。

2015年6月25日

新代表 織田由紀子

JAWW は、「NGO レポートをつくる会」（代表中村道子さん）が活動を終え、その思いを引き継ぎ、2001年に設立された、男女平等と女性の地位向上を進めるアドボカシーネットワークです。アジア太平洋地域のネットワーク APWW(Asia Pacific Women's Watch)と連携しながら活動してきました。

活動の目的は、「北京行動綱領」および「2000年国連総会成果文書」の実施を監視し、実施を推進することにあります。北京行動綱領から20年間、いくらかの進展がありましたが、依然、北京行動綱領で掲げたジェンダー平等や女性のエンパワーメントの実現には遠く、JAWWの役割も終わっていません。

設立以来14年間、代表としてJAWWを牽引してこられました原ひろ子さん、橋本ヒロ子さん、田中正子さんの後をついで、この度、代表を担うことになりました。経験豊かな副代表や役員の皆様と共に取り組みたいと思います。

2015年は、北京+20であるとともに日本では第4次男女共同参画基本計画の策定の年でもあります。また国連ではポスト2015開発目標が決まります。ジェンダー平等と女性のエンパワーメントはポスト2015開発目標の重要な柱の一つです。

JAWWが誕生した14年前と比べて、私たちを取り巻く状況は大きく変化してきました。次の15年間、ジェンダー平等を飛躍的に進めるために、JAWWのこれまでの蓄積を生かして、会員の皆様との交流を一層密にしながら共に進みたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

2015年6月25日